

吸収源対策支援事業を活用した後継者の育成について ～ 一迫林間学校への支援 ～

宮城県栗原地方振興事務所 三塚 秀樹

1 はじめに

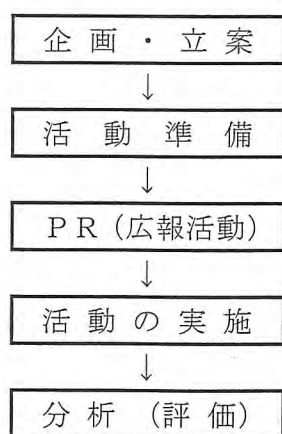
宮城県栗原市一迫地区では、地域の森林や林業を広くPRするため、昭和58年から地元の林業研究会が中心となり『一迫林間学校』を開催してきたが、近年では、活動が停滞気味になってきており、参加者の数も減少傾向にある。

このように行き詰まりが見えてきている状況の中、24回目を迎えた今年度は、あらためて林間学校の在り方を見直すとともに、これまで蓄積されたノウハウや反省点を活かしつつ、林業研究グループの取組みに対する新たな支援事業として林野庁が今年度からスタートした「吸収源対策森林施業推進活動緊急支援事業」を活用し、林業普及指導員と連携しながら、地域の林業後継者の育成を目的とした林間学校を開催することとなった。

当発表では、林間学校における取組内容や普及指導員としての支援事例の紹介、今後の課題や展望について報告する。

2 取組方法

今回、私は林業普及指導員として、『企画・立案』から、『活動準備』→『PR活動』→『活動の実施』→『活動の効果分析』までの一連のプロセスを通じて、コーディネーター・サポーター・スペシャリストとして様々な角度から支援を行った。



- ◎ コーディネーター
 - ◆ 企画の検討
 - ◆ 関係機関や協力者との連絡調整など
- ◎ サポーター
 - ◆ 林業体験や炭焼き体験活動への協力
 - ◆ 吸収源対策支援事業事務手続きへの支援など
- ◎ スペシャリスト
 - ◆ ネイチャーゲーム、ネイチャークラフトの講師
 - ◆ 自然観察会の講師

3 取組内容

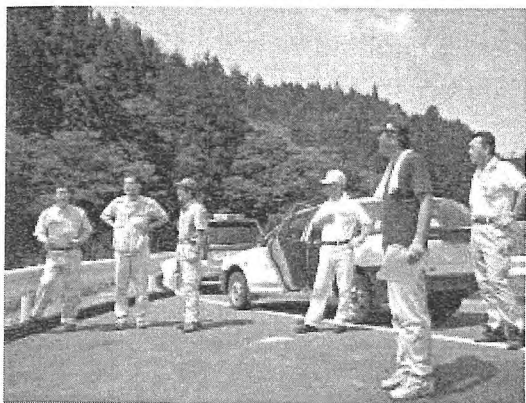
(1) 企画・立案

まず、企画の作成にあたっては、主催者である一迫林業研究会との打合せを何度も繰り返しながら、林間学校のテーマやコンセプトを決定し、それに見合った活動内容

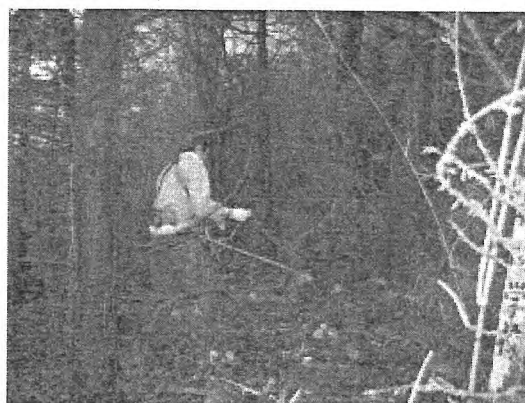
の提案や参加対象・募集人数の検討を行った。また、タイムスケジュールや開催期間などの活動プログラムの作成、必要となる施設や資機材の検討、収支予算書の作成、スタッフの役割分担の決定などを行った。

(2) 活動準備

次に、企画の内容をもとに、関係機関や協力者との連絡調整を進め、会場の確保や資機材・教材などの手配を行った。また、一迫林業研究会や地域の方々と共同で活動フィールドの選定や事前調査、フィールドの整備作業を行った。



【活動フィールドの選定】



【フィールドの整備】

(3) PR (広報活動)

この企画を地域内のより多くの方々に周知するため、一迫林間学校の開催要項や募集案内などを盛り込んだ広報用チラシを作成し、地域の小・中学校へ配布するとともに、地元の新聞や市のホームページにも掲載し、幅広いPR活動を展開した。

(4) 活動の実施

今回の林間学校には、地域の小中学生を中心に30名の参加があり、炭焼き体験やネイチャークラフト、自然観察会、林業体験などの活動を地元の関係機関や林業女性グループ、地域の方々と一体となって行うことができた。



【炭焼き体験】



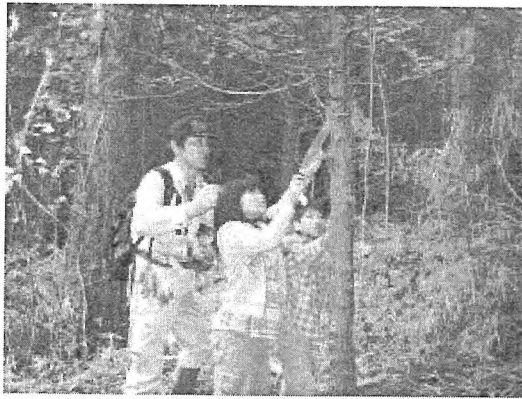
【ネイチャーゲーム】



【自然観察会】



【樹木・植物編み物づくり】



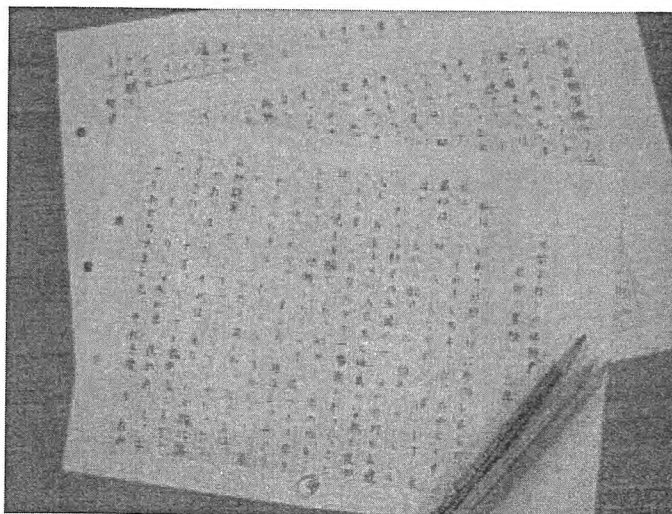
【林業体験】



【チェーンソーアート】

(5) 活動成果の分析

今回の活動成果を確認するため、参加者やその保護者、関係者に感想文を書いてもらうとともに、アンケート調査を実施した。その内容を分析してみると、参加者によって興味・関心を抱いているポイントが異なり、あらためて森林・林業に対するニーズの多様性を感じた。また、ほとんどの参加者の親子が次回の林間学校への参加を希望しており、継続的な学習と後継者の育成という観点からも次回以降に期待の持てる結果であった。



【作文（感想文）】

活動中の写真	
参加者の写真	

一遊科高学研へようこそ！

～ 遊科高アンケートに御協力ください！ ～

このアンケートは、遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
 一遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
 一遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。

- ① 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ② 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ③ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。

- ④ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑤ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑥ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。

- ⑦ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑧ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑨ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。

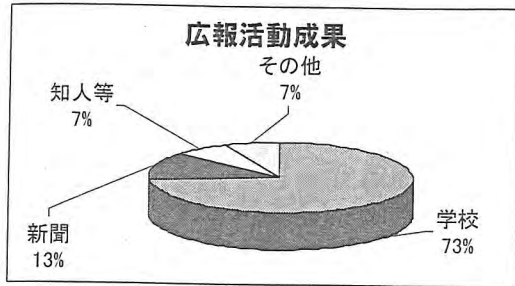
- ⑩ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑪ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑫ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。

- ⑬ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑭ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
- ⑮ 遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。

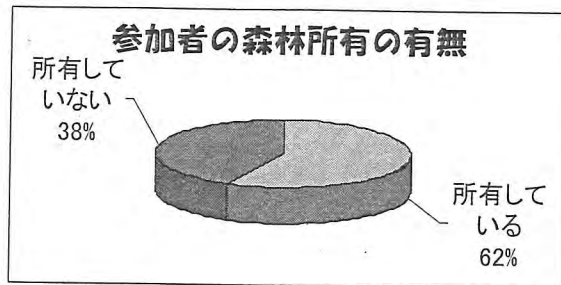
アンケートの結果は、遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
 アンケートの結果は、遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。
 アンケートの結果は、遊科高の教育活動の改善や、遊科高の発展に役立ちます。

【アンケート】

＜アンケート調査の結果（一部抜粋）＞



広報活動の成果を確認するため、林間学校を知ったキッカケについてアンケート調査を行ったところ、『学校からの情報』が全体の約7割を占め、学校へのPR活動が効果的だったことが明らかとなった。



参加者の森林所有状況について確認したところ、全体の約6割が森林を所有しており、今回の取組みが地域の林業後継者育成の第一歩として、足がかり的役割を果たせたと思われる。

4 結果及び考察

(1) 地域内に就業する若者の割合

近年、森林ボランティアやIターン・Uターン者による森林の整備などが全国的に注目を集めているが、現実には、日頃から森林に囲まれて生活している地域住民の森林・林業に対する興味・関心の度合いはまだまだ低いように感じられる。

これからの地域の森林管理を考えていくためには、基盤となる地域の林業後継者の確保と地域林業を牽引するリーダーの育成が必要不可欠であると思う。

そこで、実際に当地域の高校を卒業し、地域内に就業する若者の割合について調べてみたところ、卒業生の約4分の1にあたる24.7%が就業しており、そのうちの約2分の1にあたる48.5%が地域内に就業していることが判明した。

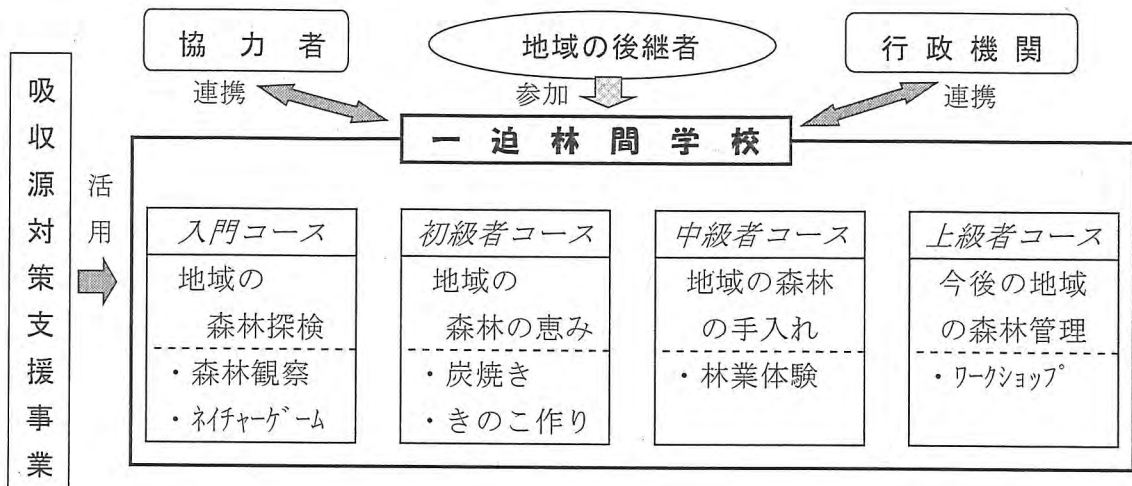
しかしながら、地域の農林業への就業割合は就業者全体のわずか1%程度にとどまっているという結果であった。

卒業年度	卒業生数	就業者数	割合(%)	うち管内 就業者数	割合(%)	うち農林業 就業者数	割合(%)
平成13年度	1,048	254	24.2	128	50.4	2	0.8
平成14年度	1,061	239	22.5	92	38.5	2	0.8
平成15年度	977	245	25.1	127	51.8	3	1.2
平成16年度	938	225	24.0	114	50.7	0	0.0
平成17年度	854	241	28.2	123	51.0	9	3.7
計	4,878	1,204	24.7	584	48.5	16	1.3

(2) 今後の取組み

このような現状に一石を投じるためにも、引き続き、地域の関係機関や協力者と連携しながら、この取組みを通じて持続的に地域の林業後継者を育成していくことが必要であり、今後は、継続的な参加を促す広報活動や魅力的なプログラム作り、主催者である一迫林業研究会の体制強化などを図りながら、参加者の年齢やレベル、ニーズに合わせたコース設定を行い、コース毎のテーマに沿った活動を展開していきたい。

また、春夏秋冬、違った顔を持つ地域の森林を知ってもらうためにも、季節に応じた活動プログラムの作成を検討していく。



(3) 将来ビジョン

現在、地域には、247の林業経営体や年間260トンを超える生産量を誇る菌床シイタケ生産施設などの就業先があることに加え、豊富な森林資源にも恵まれている。

この取組みを今後も継続していくことによって、地域の子供たちが一迫林間学校を通じて、身近にある森林の大切さや林業の魅力に気づき、将来的に林業従事者や森林所有者、林業研究グループのメンバーとして地域に残り、指導者として再び一迫林間学校に携わり、更に次世代の後継者を育成していくような「循環型の後継者育成サイクル」が確立されることを期待している。

